

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|---|--|
| (整理番号) 017 | 提案機関名 (一社) 神奈川県園芸協会 (県植木生産組合連合会) |
| 要望問題名 サクラ「クビアカツヤカミキリ」の侵入防除と駆除方法の検証 | |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 新しい侵入害虫としてサクラ類の「クビアカツヤカミキリ」の侵入被害が心配される。 カミキリムシ類は駆除が難しいので、国内の発生状況に関する情報収集とともに、事前に予防、駆除方法の検討を行うなど万全の対策が必要である。 | |
| 解決希望年限 | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | <input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター |
| 備考 | |

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| | | | |
|----------------|---|-------------|-------------|
| 回答機関名 | 農業技術センター | 担当部所 | 生産環境部病害虫研究課 |
| 対応区分 | ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可 | | |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合) | | |
| 対応の内容等 | クビアカツヤカミキリはご要望にあるとおり、本県への侵入を最も警戒すべき害虫の一つです。 クビアカツヤカミキリに侵入された木本では非常に大量のフラス(虫糞、木くず)が排出されるという特徴があります。その防除法としては排出口(穴)にカミキリムシ類の登録のある農薬散布(注入)、あるいは樹幹を網で覆い、拡大を防ぐ方法が既に確立、報告されています。 現在、当県としては発生に備え、森林研究・整備機構森林総合研究所、農研機構果樹研究所等の研究者との連携体制ができております。 今のところ県内の発生はないようですが、大量のフラスを発出している木を見つけましたらご連絡くださるよう宜しくお願いします。防除部と連携を図った上で早期に対応させていただきます。 | | |
| 解決予定年限 | ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 | | |
| 備考 | | | |